三宅町

要配慮者利用施設の

避難確保計画作成等に係る講習会

【講習会資料】

日時 令和3年12月16日(木) 14:00~16:00

場所 三宅町 本庁3階 第1会議室

講習会内容

- 1. 避難確保計画の作成と避難訓練実施の必要性について
- 2. 避難確保計画におけるポイント
- 3. 避難訓練の内容について 参考訓練動画 ~社会福祉施設の例~
- 4. 避難確保計画の作成について
- 5. 質疑応答
- 6. 今後の予定

1.避難確保計画の作成と 避難訓練の必要性について

1. 避難確保計画作成の義務化

水防法等の一部を改正する法律が平成29年6月19日に施行され、 水防法に基づき、浸水想定区域内にある要配慮者利用施設のうち 市町村地域防災計画にその名称と所在地が記載された施設に対し、 避難確保計画の作成と避難訓練の実施が義務付けられました。

「避難確保計画」の作成・提出



「避難訓練」の実施



水防法第十五条の三(抜粋)

第十五条第一項の規定により市町村地域防災計画にその名称及び所在地を定められた要配慮者利用施設*の所有者又は管理者は、国土交通省令で定めるところにより、当該要配慮者利用施設の利用者の洪水時等の円滑かつ迅速な避難の確保を図るために必要な訓練その他の措置に関する計画を作成しなければならない。

※要配慮者利用施設とは、社会福祉施設、学校、医療施設その他の主として防災上の配慮を要する者が利用する施設をいう。

要配慮者利用施設の被災事例

平成28年8月30日 岩手県小本川の水害 時間最大雨量70mm (岩泉町)

〇台風第10号の雨により「グループホーム楽ん楽ん」と「介護老人 保健施設ふれんどりー岩泉」で大きな被害が発生



〇当時の施設の対応状況(報道資料より)

- ◆施設の事務局長は「避難準備情報」が発令され たことをテレビで見ていたが、高齢者や身障者等、 避難に時間がかかる人たちが避難を始めるべき情 報と認識しておらず避難を開始しなかった。
- ◆火災を想定した避難マニュアルを作り、訓練もしていたが、水害を想定したものはなかった。

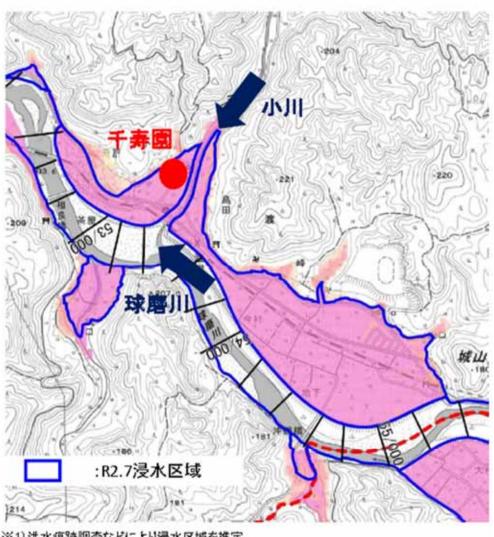
要配慮者利用施設の被災事例

【施設の概要】

- 平成12年6月開所
- ・ 千寿園(定員40名:広域型特養 定員10名:併設ショートスティ)
- ・ 千寿園別館まごころ(定員20名:地域密着型特養)
- ・ 避難確保計画の作成(平成30年4月)



球磨川の浸水想定区域と千寿園の位置



※1) 洪水痕跡調査などにより浸水区域を推定。

※2) 本資料は「速報」であり、今後変わる場合がある。

出典)「令和2年7月豪雨災害を踏まえた高齢者福祉施設の避難確保に関する検討会」(第1回検討会説明資料)を参考に作成

千寿園における避難の課題

項目	千寿園の避難計画	課題
計画の対象	土砂災害を想定した内容。	 ・ 洪水による浸水に対応できていない。 ⇒ 洪水浸水想定(想定最大規模)を踏まえた避難計画にすることが必要。
職員配置	災害警報が発表された場合の体制として12名配置。	 避難誘導するための職員が参集できなかった。 ⇒早めの参集が必要。最小限の人数で誘導できる設備や体制等を考えておくことが必要。
協力者への要請	協力者として22名を計画し、大雨警報や避難情報発令時に協力者への事前協力の要請実施。	協力者への要請をしなかった。⇒要請のタイミング等を明確化し、事前に訓練を実施しておくことが必要。
避難開始	避難準備・高齢者等避難開始が発令された場合に避難 誘導。	 2階への垂直避難のタイミングが遅かった。 ⇒洪水浸水想定(想定最大規模)を踏まえた避難計画にすることが必要。
避難先	立ち退き避難先として、①千寿園駐車場、②渡小学校運動場・体育館、③球磨村総合運動公園桜ドームを設定。 屋外避難が危険な場合は施設内に避難。	 渡小学校体育館、球磨村総合運動公園桜ドームは、避難 準備・高齢者等避難開始の時点で開所していない。夜間や 大雨時には施設内での避難を想定していた。 ⇒現実的な避難先を設定しておくことが必要。
避難方法	立ち退き避難の方法は、車両11台使用。 施設内に避難する場合は、担架および徒手(2人支持)に よる。	 2階への垂直避難に時間を要した。 ⇒エレベーターやスロープ等を設置し迅速な避難を可能とすることが必要。
訓練	職員入職時の研修、毎年2回(5月、11月)避難誘導訓練 を実施。	 渡小学校体育館、球磨村総合運動公園桜ドームへの立ち 退き避難の訓練は実施していない。 ⇒現実的な避難先を設定しておくことが必要。

出典)「令和2年7月豪雨災害を踏まえた高齢者福祉施設の避難確保に関する検討会」(第1回検討会説明資料)に一部加筆

2. 避難確保計画におけるポイント



利用者の命を守る3つポイント

- 洪水時の施設の危険性を知る。
- 2 避難先(施設内外)を決める。
- 3 避難開始のタイミングを決める。

4. 三宅町周辺の水害履歴

【昭和57年8月豪雨】



【王寺町久度】



【王寺町】

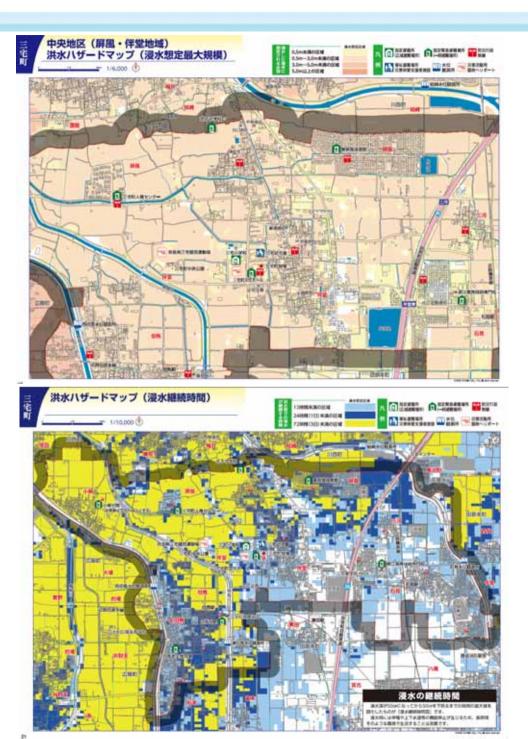
4. 三宅町周辺の水害履歴

【平成29年10月 台風21号】 【川西町、安堵町、斑鳩町付近】



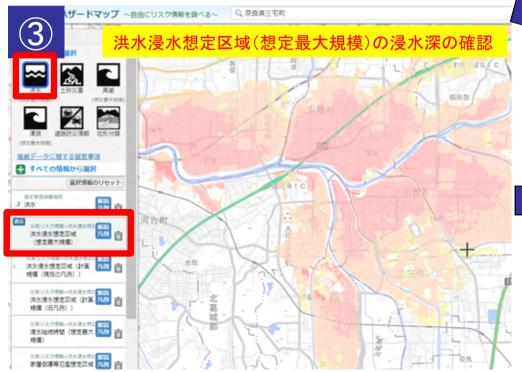
『三宅町 洪水ハザードマップ』



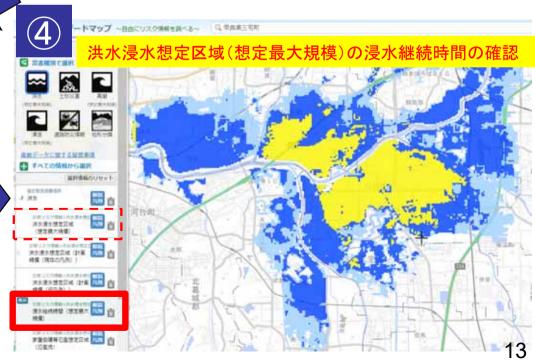


『ハザードマップポータルサイト』





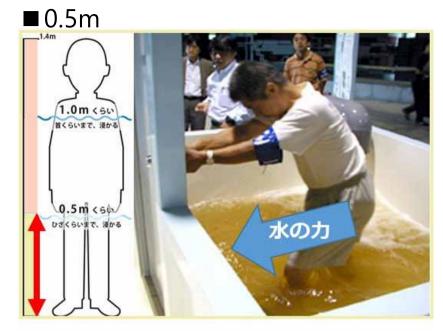




洪水ハザードマップの浸水深

■水深0.5mは膝上、3mは一階の軒下、5mは二階まで浸かってしまいます。





 $\blacksquare 0.5 \sim 3 \text{ m}$



 \blacksquare 3 \sim 5 m



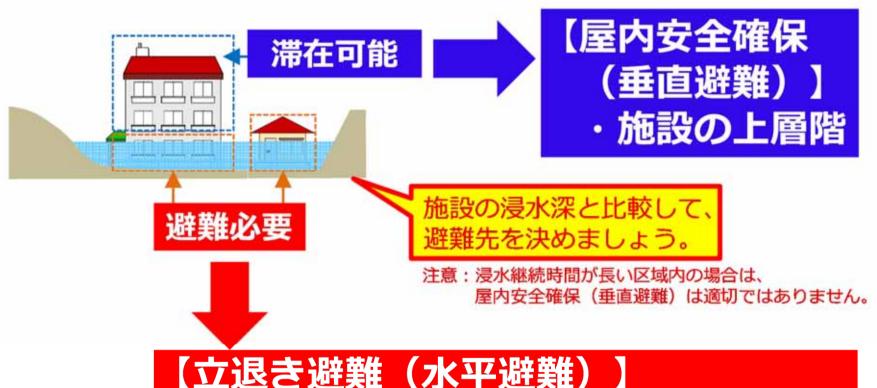


利用者の命を守る3つポイント

- 洪水時の施設の危険性を知る。
- 2 避難先(施設内外)を決める。
- 3 避難開始のタイミングを決める。



- ①安全な避難先と避難経路を決めましょう。
- ②避難経路を実際に歩いて、避難に必要な時間 を確認しておきましょう。



【立退き避難(水平避難)

- ・系列施設及び同種類似施設
- ・市町村が指定する指定緊急避難場所
- 避難先での施設利用者の適切なケア等を提供できる複数施設を選定
- 屋内安全確保(垂直避難)の避難先は、利用者や施設職員が収容できる広さを確保

避難先と避難経路を設定する

■町の指定緊急避難場所を確認しましょう。

指定避難所(広域避難場所)一覧

地 区	施設名称	所在地	電話番号
全町	全町 三宅小学校		44-2124

指定緊急避難場所(一時避難場所)一覧

地区	施設名称	所 在 地	電話番号	
小柳地区	小柳分館※	小柳71-1	_	
但馬地区	但馬分館	但馬137-1	_	
上但馬地区	上但馬老人憩の家	上但馬175-2	57-1715	
上但馬団地	三宅町人権センター	屏風250-21	43-0656	
石見地区				
三河地区		ZE 440	44.0565	
伴堂1丁目	県立高等技術専門校	石見440 	44-0565	
伴堂2丁目				
屏風地区	式下中学校	川西町結崎1866	44-0039	
東屏風地区	東屏風体育館	屏風44-29	_	
伴堂地区	三宅町文化ホール	伴堂689	44-4100	

『解説編』: 42~46頁参照

避難経路図の作成 (別紙1)

別紙1

【施設周辺の避難地図】

洪水時の遊離場所、遊離経路は以下のものとする。

	立ち退	When A TRUE	
	連環場所 1	遊職場所2	屋内安全確保
洪水	1372100		
内水			
高温			
津波			
土砂			



※肺臓の位置、連環場所の位置、連環経路、移動手段(後歩、自動車等)を記載 連環場所については、避難訓練等により避難できることを確かめ、必要に応じ見直しするものと する。

• 避難先を記載してください。



- 避難先までの経路を記載してください。
- 避難先は状況に応じて選択できるように、避難先と避難経路は複数考えておきましょう。

記載欄がありませんが、施設名、建物 階数、浸水深を記載をお願いします。 (記載方法は自由です)



利用者の命を守る3つポイント

- 洪水時の施設の危険性を知る。
- 2 避難先(施設内外)を決める。
- 3 避難開始のタイミングを決める。



段階的に発表される 防災気象情報を知る

名 称:警戒レベル

発信者:市区町村等

内 容:避難情報

名 称:警戒レベル相当情報

発信者:気象庁や都道府県等

内 容:河川水位や雨の情報

警戒レベル

住民がとるべき行動

避難情報等

防災気象情報(警戒レベル相当情報)

浸水の情報(河川)

5	命を守る最善の行動	緊急安全確保
4	危険な場所から 全員避難	避難指示
3	危険な場所から 高齢者などは避難	高齢者等避難
2	ハザードマップ等で 避難方法を確認	大面強意報 洪水強意報
9		

5 档当	氾濫発生情報
4	氾濫危険情報
3	氾濫警戒情報 洪水警報
2	氾濫強意情報



氾濫危険水位

避難判断水位

氾濫注意水位

水防団待機水位

水位情報を知る

【堤防決壊のイメージ】

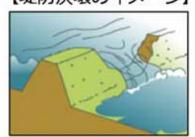


氾濫発生情報

氾濫が発生した時

氾濫危険情報

氾濫危険水位に到達した時



氾濫警戒情報

避難判断水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる時、 あるいは水位予測に基づき氾濫危険水位に達すると見込まれた時

氾濫注意情報

氾濫注意水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる時

市町村が

高齢者等避難

を発令する目安

情報	とるべき行動	警戒レベル
氾濫発生情報	災害がすでに発生していることを示す警戒レベル5に相当します。 災害がすでに発生している状況となっています。 命を守るための最善の行動をとってください。	警戒レベル 5相当
氾濫危険情報	地元の自治体が避難指示を発令する目安となる情報です。避難が必要とされる警戒レベル4に相当します。災害が想定されている区域等では、 <mark>自治体からの避難勧告の発令に留意</mark> するとともに、 <mark>避難</mark> 勧告が発令されていなくても自ら避難の判断をしてください。	警戒レベル 4相当
氾濫警戒情報	地元の自治体が高齢者等避難を発令する目安となる情報です。高齢者等の避難が必要とされる警戒レベル3に相当します。災害が想定されている区域等では、 自治体からの避難準備・高齢者等避難 開始の発令に留意するとともに、高齢者等の方は自ら避難の判断をしてください。	警戒レベル 3相当
氾濫注意情報	避難行動の確認が必要とされる警戒レベル2に相当します。ハザードマップ等により、災害が想定 されている区域や避難先、避難経路を確認してください。	警戒レベル 2相当



洪水警報の危険度分布を知る(キキクル)



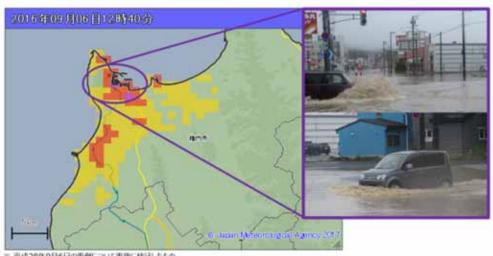








大雨警報(浸水害)の危険度分布(平成28年9月6日の稚内市の状況)





水位情報を知る

川の防災情報

気象情報、水害及び土砂災害の危険性に関する情報が一つのサイトにまとまっています。



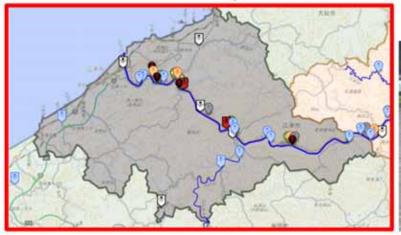
川の防災情報



URL

https://www.river.go.jp/portal/#80 https://www.river.go.jp/s/ (携帯版)

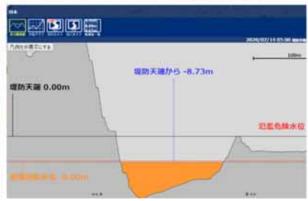




【ライブカメラ画像】



【河川の水位情報】



利用者の命を守るためのスイッチ

避難に多くの時間が必要な利用者の命を守るためには、

今までに経験したことのない大雨が降る前に、

災害に備える気持ちに切り替える心のスイッチを押しましょう!

災害級の大雨が

予想されています。 今後の情報に注意してください。



心のスイッチを入れず 自分の施設は関係ない と思っていると・・・







利用者の命を守るためのスイッチ

災害は私たちの想定どおりには発生してくれません。

利用者の命を守る"覚悟"で、避難スイッチを押し、行動しましょう!



• <u>「高齢者等避難(警戒レベル3)」を基本とした避難、日没までの避難</u>、施設利用者の 身体状態に応じて避難開始のタイミングを分けるなど<u>段階的な避難方法を決めておく</u>

スイッチを押すタイミングが重要です!



段階的に発表される防災情報と『要配慮者利用施設の主な行動(例)』

警戒 レベル



(高級。) 新疆 (新疆) 1 の様子





防災 気象情報

> Ш の様子



摧辎 情報等 早期追還情報 (警報級の可能性)

施設 の行動



【入手する防災情報】

早期注意情報

夕検索

※気象庁ホームページ

翌日早朝にかけて警報級の可能性[中]となるケース

	18	2日		38	48	58	68
種別	明け方まで		朝~夜遅く				
	18-	-6	6-24				
大南	[中]			-			-
大雪	, - ,		-		- 1	-	-
無風(無風雪)	1-1		(-	-	-	-	-
波浪	-		-	-	- 1	-	-

今夜、大雨警報が 発表されるかもしれない。 参集する財員に 声をかけておこう。





次の日に警報級の可能性「高」となるケース

I	18	18 28			48	5日	68
種別	明け方まで		朝~夜遅く	38			
	18-6	8	6-24				
大南	= :		(高)	-	-	1	-
大雪	-		-	-	-	-	-
馬及(馬及名)	-		[高]	-	-	-	-
披浪	-		[高]	-	-	-	-

明日、警報が発表される 可能性が高い。 避難開始を発令する 事態となるかもしれない。 手順を確認しておこう。



[高]のときは、気象警報等で 詳細な時間帯などを確認する 気象 秦蛇姜 〇〇県 気象情報

【施設の防災イメ―ジ(例)】

- 【避難確保計画】の確認
 - ・ハザードマップ、避難先、避難経路
 - ・避難行動の目安となる防災気象情報等
 - ・市町村からの避難情報等の伝達方法
 - ・役割分担、避難に必要な資器材、備蓄品



段階的に発表される防災情報と『要配慮者利用施設の主な行動(例)』



災害の起こるおそれ





防災 気象情報

Ш

の様子

氾濫進意情報



避難 情報等 洪家公司等

施設 の行動

心のスイッチ ⇒防災モード

【防災情報入手】



表の黄色: 泥窯道意

注意報 夕検索 気象警報



【施設の防災イメ―ジ(例)】

◆雨や水位の情報収集



氾濫注意水位に 到達しているし、 雨もやまないので 避難判断水位まで すぐ到達しそう。



心のスイッチを 入れる段階

◆施設責任者への報告



施設の体制を整えてください。 避難のための準備をお願いします。

- ・前日の休園や休業の判断
- ・従業員の職員参集
- 避難のための準備 など

段階的に発表される防災情報と『要配慮者利用施設の主な行動(例)』

警戒レベル

3

重大な災害の起こるおそれ

雨の様子





防災 気象情報

Ш

の様子

氾濫警戒情報 洪水警報



避難 情報等 高齢者等避難

施設の行動

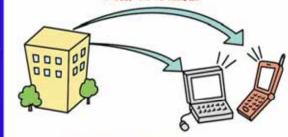


【防災情報入手】





高齢者等避難



市町村からの

- ・防災情報メール
- ・電話、fax など

【施設の防災イメージ(例)】

- ◆施設責任者への報告 (氾濫の危険性)
- ◆避難判断・避難指示
- ◆従業員への説明
- ◆館内放送(避難開始)





◆立退き避難(水平避難)

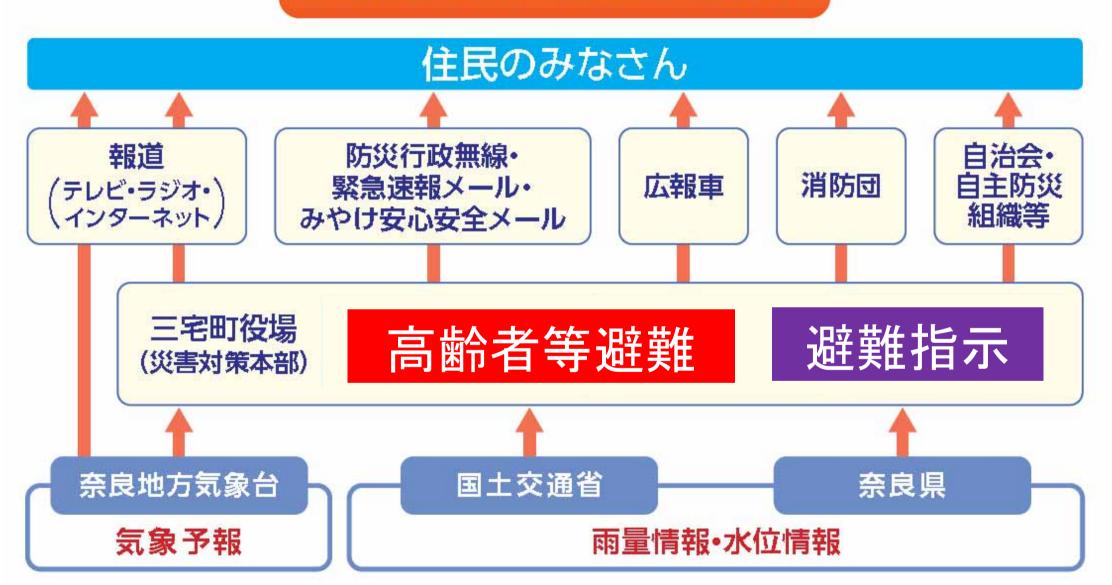


◆屋内安全確保(垂直避難)





避難情報の伝達経路



●防災行政無線自動応答装置の運用を開始します●

災害時の情報伝達手段の一つとして防災行政無線を運用し、防災情報を住民の皆さんに伝達しています。周囲の建物や気象条件によっては聞こえない場合や聞き取れない場合があります。このような場合に対応するため、放送内容を確認できる自動応答装置の運用を開始します。

「0800-200-0912」に電話していただくと放送された内容を再度聞くことができます。

【問】総務課 ☎44-2001

(自動応答装置とは)

電話することで、放送内容を確認できるシステムです。



日付	タイトル	放送内容
0/0	テスト放送	「こちらは、三宅町 役場です。ただ今よ り・・・
0/0	行方不明	「O/O、午後3時 頃 OOにお住ま いの・・・

防災行政無線『テレホンサービス』のご案内

防災行政無線放送の内容が聞き取りにくかった場合にご利用下さい。以下の番号に電話をかけると、防災行政無線で放送された最新の内容が確認できます。 (※放送された内容の保存は24時間です)

電話番号

0800 - 200 - 0912

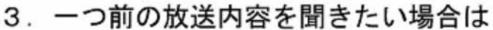
操作方法

1. 次の放送内容を聞きたい場合は











4. 最新の放送内容を聞きたい場合は







3. 避難訓練の内容について

避難訓練の内容

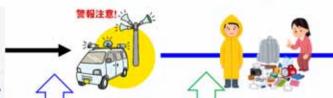
- ◆避難訓練は、気象情報を確認し、避難判断を行うための「共通訓練【必須】」に加え、【選択編】として、体制を整える「初動訓練」と避難するための「避難準備訓練」、避難行動を行うための「非常体制訓練」があります。
- ◆「共通訓練【必須】」は、避難判断のための重要な訓練ですので、必ず実施してください。
- ◆共通訓練【必須】に加え、施設状況に応じて、できる訓練から実施してください。

共通訓練【必須】

防災気象情報を入手して 避難判断ができますか。









【選択編】

初動訓練

職員参集は対応できますか。 (平日、休日・夜間)

防災情報を入手し、責任者へ の報告や職員への指示等は できますか。

避難準備訓練

必要な資器材や備蓄品は 準備できていますか。

避難時に必要な服装の 準備や移動手段の準備は できますか。

非常体制訓練

施設内の避難誘導・ 移動を円滑にできますか。

安全な施設外の避難先まで 移動できますか。

【選択編】

共通訓練【必須】

●管理者及び従業員等にて、 防災気象情報の確認訓練







初動訓練

●管理者等への状況報告訓練



●職員参集訓練





避難準備訓練

●避難に必要な備品等の確認訓練





非常体制訓練

●避難先への移動訓練(立退き避難訓練)









●施設内の屋内安全確保(垂直避難訓練)



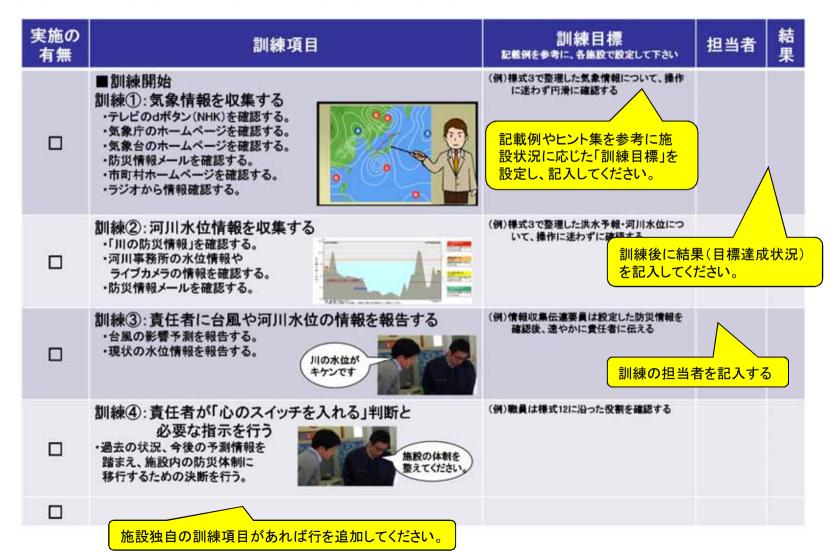




避難訓練チェックリストの使い方

◆訓練目標の設定が重要です!

- ▶避難は想定しているより時間がかかります。
- ▶訓練目標を決め、訓練結果を振り返り、避難計画を見直しましょう。
- ▶災害は想定どおりには発生しません。様々な状況をイメージすることが必要です。
- ▶避難訓練では、訓練時間を計測し、訓練後の見直しや工夫が重要です。



共通訓練【必須】を実施する

【共通訓練】: 防災体制の確認(1)【情報の収集・報告・判断訓練】

To the same of the				
実施の 有無	訓練項目	訓練目標 記載例を参考に、各施設で設定して下さい	担当者	結果
	■訓練開始 訓練①: 気象情報を収集する ・テレビのdボタン(NHK)を確認する。 ・気象庁のホームページを確認する。 ・気象台のホームページを確認する。 ・防災情報メールを確認する。 ・市町村ホームページを確認する。 ・ラジオから情報確認する。	(例)様式3で整理した気象情報について、操作 に迷わず円滑に確認する		
	訓練②:河川水位情報を収集する 「川の防災情報」を確認する。 ・河川事務所の水位情報や ライブカメラの情報を確認する。 ・防災情報メールを確認する。	(例)様式3で整理した洪水予報・河川水位について、操作に迷わずに確認する		
	訓練③: 責任者に台風や河川水位の情報を報告する ・台風の影響予測を報告する。 ・現状の水位情報を報告する。	(例)情報収集伝達要員は設定した防災情報を 確認後、速やかに責任者に伝える		
	訓練④: 責任者が「心のスイッチを入れる」判断と 必要な指示を行う ・過去の状況、今後の予測情報を 踏まえ、施設内の防災体制に 移行するための決断を行う。	(例)職員は様式12に沿った役割を確認する		
				38

【共通訓練】: 防災体制の確認(2)【情報の収集・報告・判断訓練】

実施の 有無	訓練項目	訓練目標 記載例を参考に、各施設で設定して下さい	担当者	結果
	訓練⑤:避難準備・高齢者等避難開始などの避難情報を確認し、責任者に報告する ・市町村ホームページから避難情報を確認する。 ・河川の水位情報を確認し、避難判断水位に達していないか、到達するおそれがないか確認 (予測)する。 遊難情報が発令されました	(例)情報収集伝達要員は設定した防災情報を確認後、速やかに責任者に伝える		
	 訓練⑥: 責任者が避難開始を判断し、指示を行う ・気象情報、河川水位情報に応じた対応 (様式2)の指示を行う ⇒どのような気象情報、水位情報のとき (こ、どのような対応をすべきか判断・ 指示することが大事です。 避難を開始しますので、車の 手配をお願いします。 	(例)避難準備・高齢者等避難開始が発令された ら、職員に避難開始を指示する		
	訓練⑦:施設利用者への説明を行う。 ・避難訓練を行うことについて、利用者の 状況に応じて、適切な説明を行う。 ⇒移動することを別な表現(散歩など)で 説明することも工夫の一つです) 避難場所まで 避難します	(例)訓練を行うことの説明をわかりやすく説明する		

【選択編】の訓練を実施する

- □目標を定めて(目的を意識して)、施設にあった訓練
- 口水害が起きそうなときの状況をイメージ
- 口できることから始めること

■各施設において、どの行動が必要か、それにどれくらいの時間がかかるか考えて下さい。



⇒避難訓練を繰り返すことにより、かかる時間を短縮していきましょう。

チェックリスト(1) 初動【職員参集(平日、休日・夜間)】

【訓練内容】: 職員参集または待機を判断・指示し、速やかに警戒体制等を確保するために連絡網を活用して適切・迅速な参集訓練を行う。(地震や火災訓練用の連絡網を活用可能)

訓練のポイント

■洪水時は決められた全職員が出勤できるとは限らないため、施設に到着するまでの時間や職員の家庭の事情等を予想して訓練することが重要です。

実施の 有無	訓練項目	訓練目標 記載例を参考に、各施設で設定して下さい	担当者	結果
	不在(休暇中等)職員に連絡し、応援を要請する ・日中に、夜間・休日を想定した訓練を行う ・緊急連絡網を複数パターン用意する	(例)休暇中等の職員に〇分以内に連絡が取れる (様式9の確認)		
	全職員に連絡をまわす ・SNSグループを活用する ・緊急連絡網を複数パターン用意する	(例)休日に、連絡が職員全員に途切れなくまわる (様式9の確認)		

統括指揮者、班体制(情報連絡班、避難誘導班、装備品等準備班等)の担当者を決めておく

チェックリスト② 初動【情報伝達・指示】

【訓練内容】: 気象情報等の状況にあわせて、各役割内容の確認・指示・対応を行う。

訓練のポイント

- ■初動で必要となる取組や体制・役割を理解する。(計画内容を全従業員で理解する⇒職員教育)
- ■管理権限者(代行者)は、報告された情報の職員への伝達と指示する行動をイメージする。

実施の 有無	訓練項目	訓練目標 記載例を参考に、各施設で設定して下さい	担当者	結果
	初動体制(職員待機やリーダー等)を決定する ・一人複数役をこなせるように訓練時にローテーションする。	(例)責任者は参集状況に応じた役割分担を判断 し、職員に指示する		
	通所利用者や外来診療の受入を判断する ・保護者等への連網を活用し、事前連絡を行う。	(例)責任者は通所利用者や外来受入の可否を判断し、職員に対応を指示する		
	早期避難対応の要否を判断する ・重篤者など避難に時間を要する利用者の早めの対応を行う。	(例)早期避難が必要な利用者(体調管理に特に 留意が必要な利用者等)の有無を判断し、適 切な対応を指示する		
	館内放送の確認 ・トイレ、風呂など、管内放送が聞こえない場所がないか確認する。	(例)施設館内放送の動作確認(施設内の 聞こえ方に差がないことを確認)		

- <u>防災体制のレベル毎における入手すべき防災情報と入手方法</u>を決めておく
- ・ 施設職員、避難支援協力者、市町村担当者、施設利用者の家族等の<u>情報伝達先</u>を決めておく

チェックリスト③ 避難準備 【資器材・備蓄品等の準備】

【訓練内容】: 利用者の配慮事項等に対応した資器材等の配置や設置等の効率化

訓練のポイント

- 水害時に使用可能な保管場所や状態にあるかを確認する。
- 土のうの作成や止水板の設置など、通常業務で行わない項目は、継続的な避難訓練の対象とし、 短時間での対応が可能な体制構築を図る。

実施の 有無	訓練項目	訓練目標 記載例を参考に、各施設で設定して下さい	担当者	結果
	資器材、備蓄品等の確保 ・車いす・担架、備蓄品等は日頃から 確認出来る場所に配置する。 ・各居室に非常時持ち出し袋(お薬手帳、薬など)を配備する。	(例)利用者に必要な傭蓄品・携行品の種類・量を 迅速に確保する		
	資器材・備蓄品等の移動 ・場所をわかりやすい所に置き、避難の時短を図る。また、すぐ動かせるようにしておく。	(例)必要資器材を上層階に〇分で(〇名で)移動 する (例)備蓄品を避難先への搬送用に車に〇分で積 み込む		
	土嚢や止水板の設置	(例)玄関に〇分で設置する		
	備蓄品(水・食料)の実食	(例)災害時用の備蓄食料品の味の確認や食べ 方を理解する		
	利用者の情報を適切に管理・1・2週間に1度はカルテを出力する。	(例)停電時にも利用者の情報が確認できる		

• 避難及び避難先におけるケアに必要な装備品や備蓄品を適切に確保しておく

チェックリスト④ 避難準備 【移動に向けた事前準備】

【訓練内容】: 移動手段の確実な準備・確保と、移動開始までを短縮化するための段取りの確認

訓練のポイント

■ 日頃から、携行品の保管や避難用の資器材の設置場所等、災害時の避難準備時間の短縮化や対応の効率化に繋がる工夫を考える。

実施の 有無	訓練項目	訓練目標 記載例を参考に、各施設で設定して下さい	担当者	結果
	避難誘導班の体制確認 ・利用者ごとの役割分担を確認する。	(例)避難誘導班の体制と担当ごとの役割分担 (様式12)を確認する		
	利用者の所在・状況確認 ・日常の利用者の状況チェックをより短時間で実施する	(例)利用者の所在や状態、安否状況等を〇分で (〇名で)確認する		
	利用者の事前準備・着替え、車椅子への移動、早めの食事などを行う。	(例)利用者の着替えをO分で行う		
	施設内の移動手段の確認 ・各居室に避難経路を貼る。	(例)車いすや担架等の資器材を確保する (例)エレベータの状況や機械室を確認する		
	施設外の移動手段の確認 ・避難車両の乗車割り当て表を作成する。 ・避難者の引き取りチェックリストを作成する。 ・保育園の応援(ボランティア)隊を確保する。	(例)避難移動用の自動車を必要台数確保する		

エレベーターの活用に加え、非常用電源の設置やエレベーターの代替えとなるスロープの 設置、階段昇降機の設置、車椅子等を支援者が持ち上げることも想定した階段幅の確保

チェックリスト⑤ 非常体制【施設内の避難誘導】

【訓練内容】: 避難誘導班の責任者は、利用者の避難における配慮事項及び優先度を考慮し、避難誘導班 担当者、他の従業員、支援者等への適切な指示を行う。

訓練のポイント

- ■地震・火災等の訓練を参考に、施設利用者の移動時の配慮事項を確認する。
- ■避難生活が長期化する可能性も念頭に、避難先の環境を確認する。
- ■停電等により、施設内の環境も変わる可能性があることも配慮して訓練する。

実施の 有無	訓練項目	訓練目標 記載例を参考に、各施設で設定して下さい	担当者	結 果
	避難先の選択 ・施設内の避難スペースを迅速に確保できるようにする。	(例)避難先(施設内の上層階か施設外か)を迅速 に判断し、周知する		
	施設内における避難移動 (玄関まで/上層避難) ・1階から2階への避難訓練を実施する。 ・職員が利用者の代役となり、患者の 負担がないように実施する。 ・夜間訓練を夜勤者1人で行い、深夜の避難計画を作成する。	(例)施設内の移動を〇分内で完了する (例)エレベータを利用せずに階段を利用して上層 階の避難場所に移動する		
	利用者の心身の健康管理・利用者ごとの配慮事項を確認する。	(例)移動中や施設内の避難場所で、利用者の状態を確認する体制を確認する		

チェックリスト⑥ 非常体制【施設外への避難誘導】

【訓練内容】: 避難誘導班の責任者は、利用者の避難における配慮事項及び優先度を考慮し、避難誘導班 担当者、他の従業員、支援者等への適切な指示を行う。

訓練のポイント

- ■実際の移動には、利用者の負担も大きいことから、職員による代替対応や、平常時の散歩等、訓練による負担の軽減化に留意する。
- ■一斉避難だけではなく、段階的な避難(グループ分け)など、効率的な避難対応を検討する。

実施の 有無	訓練項目	訓練目標 記載例を参考に、各施設で設定して下さい	担当者	結果
	避難先の選択 ・避難先に事前連絡して訓練を実施する。	(例)責任者は施設外の避難先を決定し、周知する		
	移動経路・移動手段の決定 ・大雨時の状況を踏まえ、避難路・移動手段の事前確認を行う。	(例)状況を踏まえて移動経路と手段を判断し、周 知する		
	車両への乗り込み訓練	(例)手配した車両に〇分で乗り込む (例)ピストン移送の乗り込み順番を確認する		-
	リフト車両の操作訓練	(例)操作可能な従業員数を〇名とする		
	避難場所への避難移動 ・隣接しているグループ施設や他施設との避難訓練を実施する。 ・他地区の施設との相互受け入れに関する協議を行う。	(例)施設外の避難先まで、〇分で移動する (例)移動経路上の課題(危険要因等)等と対応を 確認する		
	利用者の心身の健康管理 ・利用者ごとの配慮事項を確認する。 ・引き渡し訓練を保護者と共に実施する。	(例)移動中(車両内等)や避難先で、利用者の状態を確認する体制を確認する		

【選択編】

■訓練のヒント

【初動体制】

- 悪天候の予想時は、所長、リーダー等が施設に泊まることで対応する。
- ・夜間の少ないスタッフでの避難対応や他スタッフとの連携を訓練する。
- 訓練で、あえて応答しない職員を設定して、連絡がまわるかどうかを訓練する。
- 一人数役をこなせるように、役割分担を訓練時にローテーションする。
- 利用者の家族と連絡がとれない場合のため、利用者宅の避難場所を整理する。

【避難準備】

- 各居室に非常時持ち出し袋(お薬手帳、必要な薬など)を配備する。
- 大雨が予想される数日前にカルテを出力する。
- トイレ、風呂など、管内放送が聞こえない場所がないか確認する。
- 車椅子などの場所をわかりやすい所に置き、避難にかかる時間の短縮を図る。
- 避難車両の乗り込み用の乗車割り当て表を作成する。

【非常体制】

- •引き渡し訓練を保護者と共に実施している。
- ・従業員が利用者役となって、移動訓練を実施する。
- 隣接しているグループ施設や他施設との避難訓練を実施する。
- ・地区の祭りに参加することなどにより、地域とのコミュニケーション強化と災害時の支援 ネットワークの構築を図る。

- 1. 設定した「訓練目標」は達成出来ましたか?
- 2. 訓練でよかったことや得られたことは何でしたか?
- 3. 避難にかかった時間は、事前の見込みのとおりでしたか? (見直しをする必要はありませんか)
- 4. 改善が必要な施設の体制はありませんでしたか?
- 5. 避難確保計画で見直しや追加が必要な項目は何でしたか?
- 6. 本当に災害が発生しそうになったときに、施設利用者や職員は、助かることができそうでしょうか?
 - ⇒訓練参加者全員で振り返りを実施しましょう!

避難訓練の実施<u>計画書</u>の作成 避難訓練の実施<u>報告書</u>の提出

避難訓練の実施計画書

【避難訓練の実施日時】

令和 年 月 日

実施訓練	訓練内容
■:必須	共通訓練 【防災体制の確認】: 気象情報等の収集と施設内での共有、避難判断までの訓練
実施する訓練を 選択して■に塗る	選択編 :施設ごとに、全部もしくは一部を選択して訓練
□ チェックリスト①	初動訓練:職員参集
□ チェックリスト②	初動訓練:情報伝達・指示
□ チェックリスト③	避難準備訓練:資器材・備蓄品等の準備
□ チェックリスト④	避難準備訓練:移動に向けた事前準備
□ チェックリスト⑤	非常体制訓練:施設内の避難誘導
□ チェックリスト⑥	非常体制訓練:施設外への避難誘導 想定されている避難先を記入してください。()

避難先のチェック項目	対応
計画している避難先は、避難訓練時に使用できますか?	□避難先の施設に事前に了解を得られれば使用可能 □非常時でなければ使用できない(小学校など) <u>→避難訓練時は施設の入口まで移動したら終わりで結構です。</u>
自施設の2階以上に避難する場合、 避難訓練時に使用できますか?	□常に使用可能な場所 □訓練前に片付けを行えば使用可能 □平常時には利用者がいる <u>→避難訓練時はその場所まで移動したら終わりで結構です。</u>

避難訓練の実施報告書の作成

避難訓練終了後、訓練実施報告書を作成し、市町村へ提出してください。

【様式】



【記載例】



避難確保計画及び避難訓練の参考情報

講習会プロジェクト

- ◎ 避難確保計画作成講習会の概要 (PDF: 495KB)
- 要配慮者利用施設の避難確保計画作成に向けた講習会開催マニュアル(PDF: 22.8MB)<活用ツール>
- 活用ツール(1): 講習会開催の案内文、送付資料等WORD: 4.21MB
- 活用ツール②:講習会準備のチェックリストWORD:46KB
- 活用ツール③:説明資料フォーマット(基本方式前期)PPT:63.3MB
- 活用ツール(4): 説明資料フォーマット(基本方式後期)PPT: 5.76MB
- 活用ツール⑤:説明資料フォーマット(実践方式)PPT:58.97MB
- 活用ツール⑥: 説明資料フォーマット(簡易方式)PPT: 47.90MB
- 活用ツール⑦:ワールドカフェ司会進行表(案)WORD:41KB
- 活用ツール®:避難確保計画チェックリストExcel:20KB
- 活用ツール9: 避難訓練チェックリストPPT: 14.5MB ······本日の講習会資料に入っています。
- 活用ツール①: Q&A PDF: 128KB
- 一括ダウンロード(ZIP: 188MB)
- ◎ 以前のバージョンはこちら(ZIP: 7.97MB)
- 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成について(YouTube MLIT channel)



避難確保計画及び避難訓練の参考情報

避難確保計画様式チェックリスト

	様式	確認事項	確認欄
	施設の危険性	施設の想定最大規模の浸水深は何mですか?施設の外に出て、大雨時にどうなるか、浸水イメージを関係者全員で確認しましたか?	
	避難経路	避難経路に危険箇所はありませんか?避難経路は複数設定していますか?	
別紙1	避難先までの移動 時間	避難先までの移動時間は確認しましたか?	
	避難経路図の共有	避難経路図(別紙1)は施設内に掲示されていますか?施設関係者全員で共有できていますか?	
		・利用者を一人避難させるために、スタッフが何人必要ですか?不足している場合は対 応方法は決めていますか?	
様式1	施設の情報	・休日、夜間は対応できますか?従業員は対応できますか?対応できない場合は前日 タ方に対応できる計画となっていますか?	
		・職員の参集計画、連絡体制は大丈夫ですか?	
	休業等の判断	・利用者の保護者等への連絡方法、連絡先、連絡内容(伝達文)を決めていますか?	
様式2	防災体制	・警戒レベル3で避難行動を開始して完了できるように、各警戒レベルの防災体制を施 設関係者全員で検討・共有していますか?	
		・警戒レベル4では施設全体の避難行動を完了できる計画となっていますか?	
lat. 15 -	情報収集	・警戒レベルごとに発表される防災情報の意味を十分に理解していますか?(施設関係 者全員が望ましい)	
様式3		・いつでも情報収集できるよう、webサイトやアプリをお気に入り等に登録していますか?	
	情報伝達	・利用者の保護者等への連絡方法、連絡先、連絡内容(避難先)を決めていますか?	
	避難先	・道路の渋滞、冠水など想定していない状況が発生するかもしれません。避難先は複数 設定していますか?	
	移動距離	・避難先まで実際に歩いてみましたか?車で移動してみましたか?どれくらいの距離・時 間かを確認しましたか?	
様式4	移動手段	・水害時による停電時は大丈夫ですか?暗い中で施設内を移動できますか?	
		・停電によりエレベータが使えない場合、屋内安全確保(垂直避難)ができますか?	
		・決めていた従業員が来られない場合どうしますか? 施設外の地域で協力してもらえる人 を決めていますか?	
		・施設の車が使えない場合はどうしますか?他の移動手段は確保していますか?	
	避難の確保を図る	・利用者の避難に必要なものを揃えていますか?不足していませんか?	
様式5	ための施設の整備	・利用者にとって必要なものは担当者(従業員)が良く知っていますので、施設関係者全 員の声を聞いて、決めていますか?	
様式6	自衛水防組織	・自衛水防組織とは、水害時の避難対応等を行う体制であり、設置することで役割がより 明確になります。・従業員数が比較的多い場合は、設置することが望ましいので、施設内で検討してみましたか?	
様式7	防災教育及び訓練	・避難確保計画は施設関係者全員で共有できていますか?	
1来工/	の年間計画	・避難訓練計画は利用者の命を守る訓練内容・計画となっていますか?	
様式8	利用者緊急連絡先 一覧表	・前日の休業や休園の場合、利用者の保護者等への連絡方法、連絡先、連絡内容を決めていますか?	
様式9	緊急連絡網	・いつでも、連絡がつきますか?複数の伝達手段を確保していますか?	
様式10	外部機関等の緊急 連絡先一覧表	・最新の連絡先となっていますか?	
様式11	対応別避難誘導一 覧表	・利用者全員を避難させるために必要な時間(避難準備にかかる時間と移動にかかる時間)を把握していますか?訓練で確認しましたか?	
# #10	· □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	・施設の防災体制として、管理権限者、情報収集伝達要員、避難誘導要員を決めていま すか?	
	防災体制一覧表	・決定した防災体制(役割分担)は必ずしも全員参集できるとは限りません。一人二役以 上の役割をこなせるように訓練していますか?	

要配慮者利用施設における避難確保計画の作成について(YouTube MLIT channel)

- 【全体版】要配慮者利用施設の避難確保計画の作成について(約25分)
- [第1部]避難確保計画の必要性(避難確保計画の作成は義務です)(約4分)
- 【第2部】洪水時の施設の危険性の把握と避難先の決定(約3分)
- 【第3部】避難に必要な時間の把握と避難開始のタイミングの判断(約7分)
- ◎【第4部】避難確保計画の作成様式の説明(約10分)
- 避難確保計画作成の手引きはこちら
- 講習会プロジェクトはこちら



4.避難確保計画の作成について

避難確保計画作成の手引き 解説編

【特徴】

- より分かりやすく
- ・容易に計画の作成が可能
- ・洪水・内水・高潮、土砂災害、津波を統合



全国の取り組み状況

要配慮者利用施設の避難確保計画作成状況(H31.3末)

・水防法に基づき市町村地域防災計画に位置づけられている要配慮者利用施設の数: 67,901うち 避難確保計画を作成済み施設の数: 24,234

都道府県別の作成状況(PDF:33KB) 市町村別の作成状況(PDF:152KB)

避難確保計画作成の手引き

避難確保計画作成の手引き

- 計画作成にあたって(PDF:74KB)
- ●解説編 (PDF9.278KB)
- ●様式編
 - 社会福祉施設(XLSX:844KB)
 - · 学校(XLSX:848KB)
 - · 医療施設(XLSX:845KB)

『様式編』

過去の手引きはこちら







【様式1】計画の目的・報告・適用範囲

様式1

1 計画の目的

この計画は、本施設の利用者の洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的とする。

また、作成した避難確保計画に基づいて、安全な避難行動を確実に行うことができるよう、 防災教育や訓練を行い、施設の職員や利用者に対して、洪水に関する知識を深めるとともに、 訓練等を通して課題等を抽出し、必要に応じてこの計画を見直ししていくものとする。

関連法:水防法

2 計画の報告

計画を作成又は必要に応じて見直し・修正をしたときは、遅滞なく、当該計画を市町村長へ報告する。

3 計画の適用範囲 この計画は、本施設に勤務又は利用する全ての者に適用するもの。

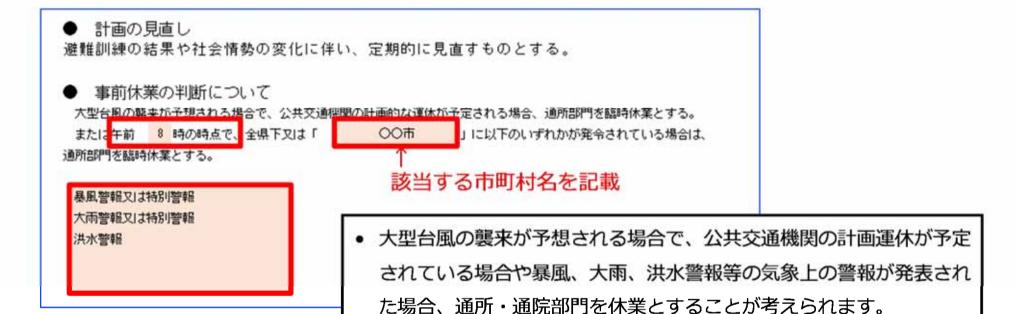
平日と休日、昼間と夜間の利用者数と 従業員数を分けて記入してください。

施設の状況

			平	B				休	B	
		利用者		抽	設職	Ą	利用	月者	施設	職員
昼間	約	27	名	約	9	名	約	名	約	名
夜間	約	9	名	約	2	名	約	名	約	名

- 利用者を一人避難させるために、スタッフが何人必要ですか?
- ・休日、夜間は対応できますか?職員の参集計画、連絡体制は大丈夫ですか?

【様式1】計画の目的・報告・適用範囲



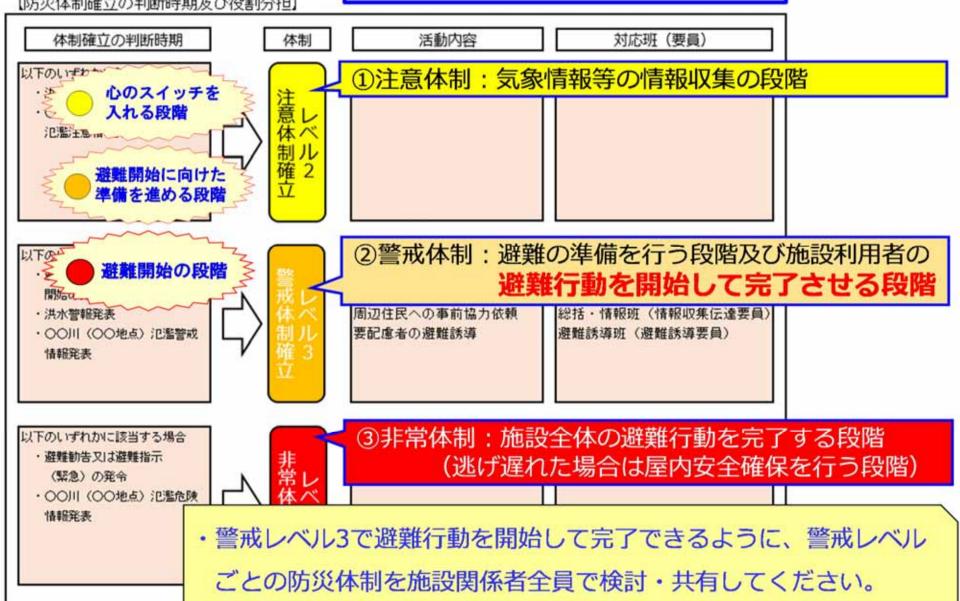
- ・事前の休業や休園を行うために、前日の何時までに、どのよう な情報で判断するかを決めておくことが重要です。
- ・利用者の保護者等への連絡方法、連絡先、連絡内容を決めていますか?

『解説編』:12~22頁参照



の検討内容と解説編の 14頁を参照してください

【防災体制確立の判断時期及び役割分担】



【様式3】情報収集・伝達

様式3

- 5 情報収集・伝達
- (1) 情報収集

収集する主な情報及び収集方法は、以下のとおりとする。

収集する情報	情報の例示	収集方法		
	気象警報、津波情報	テレビ		
洪水予報等	洪水予報、水位到達情報	インターネット(情報提供機関のウェブサイト)		
/共/八丁·春度 李孝	土砂災害警戒情報	ラジオ (AMOOO)		
	避難準備・高齢者等避難開始、避 難勧告、避難指示(緊急)	防災行政無線、エリアメール・緊急速報メー ル、防災メール		
	施設周辺の浸水状況	施設周辺の浸水状況 施設職員による目視 (但し、安全に配慮して危険な場所に近づかな いよう施設内から実施)		
その他	排水施設の稼働状況	市町村からのFAX(事前に調整)		
	施設周辺における土砂災害の前兆 現象	施設周辺の浸水状況 施設職員による目視 (但し、安全に配慮して危険な場所に近づかな いよう施設内から実施)		

停電時は、ラジオ、タブレット、携帯電話を活用して情報を収集するものとし、これに備えて、 乾電池、バッテリー等を備蓄する。

提供される情報に加えて、雨の降り方、施設周辺の水路や道路の状況、斜面に危険な前兆が 無いか等、施設内から確認を行う。

「対応別避難誘導一覧表」⇒様式11

(2) 情報伝達

「緊急連絡網」に基づき、気象情報、洪水予報、津波情報及び土砂災害警戒情報等の 情報を施設内関係者間で共有する。

避難する場合には「利用者緊急連絡先一覧表」に基づき、利用者の保護者・家族等に対し、

「 A会 (避難場所) へ避難する。利用者引き渡しは A会 (避難場所) において 行う。利用者の引き渡し開始は○○時頃とする。」旨を連絡する。 ・いつでも情報収集できる よう、webサイトやアプ リをお気に入り等に登録 しておきましょう。



【様式4】避難誘導

- 6 避難誘導
- (1) 避難場所、移動距離及び手段

様式4

1) 立ち退き避難 (水平避難) を行う場合

立ち退き避難(水平避難)の場合の避難場所1(浸水想定区域外の関連施設)

	品を守る	_
8	ポイント	Z

において検討した避難先 を記載してください。

	PRESENTATION OF STREET	10 ALDEWS	.		1	
	遊難場所名称	有多番力足巨高額		徒歩	車両	
施設名(洪水)	A会(系列グループホーム)	2,000			V 4	台
施設名(内水)			n.			台
施設名(高瀬)						台
施設名(津波)			n			台
施設名(土砂災害:がけ崩れ・土 石流・地すべり)	,,,					台

立ち退き避難(水平避難)の場合の避難場所2(指定緊急避難場所)

	避難場所名称	\$0.64,0E#			移動手段	
	施莱斯·杨/八/石作	移動距離		徒歩	車両	
施設名(洪水)	C高校(体育館)	500		V	V 4	台
施設名(内水)						台
施設名〈高瀬〉						台
施設名〈津波〉			- 10			台
施設名(土砂災害:がけ崩れ・土 石流・地すべり)			n			台

2) 屋内安全確保を行う場合

屋内安全確保(垂直避難)の場合

	建物名称	遊難階		移動手段
屋内安全確保(洪水)	本施設	2	階	エレベーター、ストレッチャー
屋内安全確保(内水)			階	
屋内安全確保〈高潮〉			階	
屋内安全確保(津波)			階	
施設名(土砂災害:がけ崩れ・土 石流・地すべり)			階	

水害による停電なども 考慮しておきましょう。

- ・停電でエレベータが 使えない。
- ・決めていた従業員が 来られない。
- ・施設の車が使えない。

など、予期せぬ事態 に対応できますか?

【様式5】 避難の確保を図るための施設の整備等

様式5

7 避難の確保を図るための施設の整備

情報収集・伝達及び避難誘導の際に使用する資器材等については、下表「避難確保資器材一覧」に示すとおりである。これらの資器材等については、日頃からその維持管理に努めるものとする。

避難確保資器材一覧

	備蓄品
情報収集・伝達	テレビ 、 ラジオ 、 タブレット 、 ファックス 、 携帯電話 懐中電灯 、 電池 、 携帯電話用バッテリー
避難誘導	名簿(施設職員、利用者) 、 案内旗 、 タブレット 、 携帯電話 、 懐中電灯 、 携帯用拡声器 、 電池式照明器具 、 電池 、 携帯電話用バッテリー 、 ライフジャケット 、 蛍光塗料
施設内の一時避難	水 (1人あたり9リットル) 、 食料 (1人あたり9食分) 、 寝具 、 防寒具
衛生器具	おむつ・おしりふき 、 タオル 、 ウエットティッシュ 、 マスク 、 ゴミ袋
医薬品	常備筆 、 消毒薬 、 包帯 、 絆創膏
その他	0000

		浸水を防ぐための対策
土のう 、 止水板	. 0000	

	土砂災害に対する避難を確保するための対策**	
自家発電機 、	壁の補強 、 非常用サイレン(屋外設置) 、 〇〇〇〇	

※事前の対策

8 防災教育及び訓練の実施

毎年 4 月に新規採用の施設職員を対象に研修を実施する。

毎年 6 月に全施設職員を対象として、情報収集・伝達及び避難誘導に関する訓練を実施する。

その他、年間の教育及び訓練計画を毎年 3 月に作成する。

利用者の避難に必要なもの を揃えていますか? 不足していませんか?

【ある施設の声】

- ・幹部だけで計画を決めたが、 従業員から「薬があっても、 避難先で水がないと飲めない」ため、水と薬をセット で常備しましょう。という アイデアを得たそうです。
- ※従業員が利用者のことを一番知っているので、施設関係者全員で決めましょう。

【様式6】自衛水防組織の業務に関する事項

『解説編』: P7~9、12、20、49 頁参照

様式6

- 9 自衛水防組織の業務に関する事項
- (1) 「自衛水防組織活動要領」に基づき自衛水防組織を設置する。
- (2) 自衛水防組織においては、以下のとおり訓練を実施するものとする。
 - ①毎年 4 月に新たに自衛水防組織の構成員となった施設職員を対象として研修を実施する。
 - ②毎年 4 月に行う全施設職員を対象とした訓練に先立って、自衛水防組織の全構成員を対象として情報収集・伝達及び避難誘導に関する訓練を実施する。
- (3) 自衛水防組織の報告 自衛水防組織を組織または変更をしたときは、遅滞なく、当該事項を市町村長へ報告する。

「自衛水防組織活動要領」⇒別添

- 自衛水防組織とは、水害時の避難対応等を行う体制です。
- 従業員数が比較的多い場合は、設置することが望ましいです。
- 設置は努力義務ですが、設置した場合、市町村への報告が必要です。

避難経路図の作成 (別紙1)



別紙1

【施設周辺の避難地図】

洪水時の避難場所、避難経路は以下のものとする。

	立ち退	き遊覧	屋内安全確保	
	連環場所 1	遊離場所2	- ADTEX 2018	
洪水:				
rhok			1	
高谱				
津波				
## ST		1		

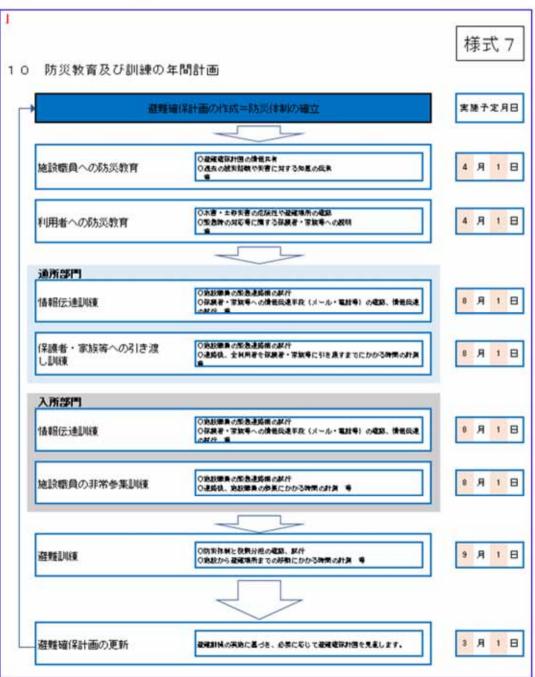


※建設の位置、連興場所の位置、連環経路、移動手段(後歩、自動車等)を記載 連環場所については、連環訓練等により連弾できることを確かめ、必要に応じ見直しするものと する。

避難経路図を作成したら、次のことを確認してください。

- ①施設の想定最大規模の浸水深は何mですか? 施設の外に出て、大雨時にどうなるか、浸水 イメージを関係者全員で確認しましたか?
- ②避難経路に危険箇所はありませんか?
- ③避難先までの移動時間は確認しましたか?
- ④施設内に掲示されてますか?

【様式7】防災教育及び訓練の年間計画



- ◆ 従業員への避難確保計画の内容を 共有するための『防災教育』の日 程を決めておきましょう。
- ◆ 避難訓練の実施日程を決めておきましょう。
- ◆ 職員のみの訓練でも訓練です。 できる訓練から実施しましょう。
- ◆ 訓練は失敗して、課題を見つける ことが重要です。繰り返しの訓練 がいざという時に役立ちます。

【訓練による好事例】

・施設利用者を"移動させる避難"では なく、日常業務における"災害時に も対応できる工夫を考える訓練"が 全従業員にて実施できていたことで 利用者の命を守ることができた事例 もあります。





『解説編』:24頁参照

様式8

11 利用者緊急連絡先一覧表

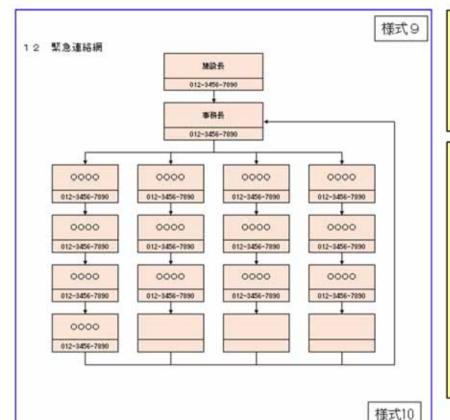
		利用	用者			緊急連絡先		その他
	氏名	年齡	住所	氏名	続柄	電話番号	住所	(緊急連絡先等)
1	0000	84	〇市1丁目××		娘	012-3456-7890	〇市1丁目××	090-1234-5678
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								

・前日の休業や休園の場合、利用者の保護者等への連絡方法、連絡先、連絡内容を決めていますか?



【様式9】緊急連絡網

【様式10】外部機関等の緊急連絡先一覧表



13 外部機関等の緊急連絡先一覧表

	連絡先	保管
亦町村(防災規 協)	012-3456-7890	
市町村(福祉组 当0	012-9456-7890	
湖水港	012-3456-7890	
警察署	012-3456-7890	
連環議議等の支援 者	012-3456-7890	
医疫機器	012-3456-7890	

- ◆ 緊急の連絡網や外部機関等との連絡先を 決めていますか?
- ◆ いつでも、連絡がつきますか?

【訓練による声】

- ・夜間(夕方)に抜き打ち連絡訓練を実施した 結果、連絡が届かなかった職員がいたため、 連絡網の見直しを行いました。
- 携帯がつながらないこともあるため、複数の 伝達手段を確保することとしました。
- ・緊急の連絡網には、電話とメールに加えて、 SNSを活用することとしました。



様式11

14 対応別避難誘導一覧表

IT A	·声级 #	対応由数	移動	手段	担当者	備考
氏名	連絡先	対応内容	立ち退き避難	屋内安全確保	担ヨ有	加布
0000	012-3456-7890	1	徒歩	階段	0000	要介護度1
		3 \		=		
10.55	へ移動	- 4 51 34				
1 単	独步行可能	2 介助必	要 3車いする	F使用		

4ストレッチャーや担架が必要 5その他 その他の対応

6 自宅に帰宅 7 病院に搬送 8 その他

【様式11】対応別避難誘導一覧表

- ◆ 利用者全員を避難させるために必要な時間を 把握していますか?
- ・利用者一人ひとりの対応は異なります。
- ・各利用者を避難させるための対応内容、対応時 間を整理(イメージ)してください。
- ・日常サービス等の中で確認することで気づき(避 難時の知恵)を得ることができます。

利用者の特性を考慮した役割分担





【様式12】防災体制一覧表



◆ 施設の防災体制として、管理権 限者、情報収集伝達要員、避難 誘導要員を決めていますか?

【防災体制の工夫】

- ・決定した防災体制(役割分担)は 必ずしも全員参集できるとは限り ません。
- ・一人二役以上の役割をこなせるように訓練しておきましょう。

管理権限者



情報収集伝達要員





避難誘導要員



[別]添] 自衛水防組織活動要領

『解説編』: P7~9、12、20、49 頁参照

【別表1】自衛水防組織の編成と任務 【別表2】自衛水防組織装備品リスト

『解説編』: 20~22頁参照

別添

自衛水防組織活動要領

(自衛水防組織の編成)

第1条 管理権限者は、洪水時等において避難確保計算に基づく円滑かつ迅速な避嫌を確保するため、 自需水防組織を解成するものとする。

- 2 自衛水防川徹には、統括管理者を置く。
- (1)統括管理者は、管理権限者の命を受け、自衛木防紅線の機能が有効に発揮できるよう組織を抵抗する。
- (2) 被任管理者は、法水均等における連張行動について、その指揮、命令、監督等一切の権限を有する。
- 3 管理権限者は、統括管理者の代行者を定め、当該代行者に対し、統括管理者の任務を代行するために必要な指揮、命令、監督等の權限を付与する。
- 4 自衛水防組織に、直を置く。
- (1) 班は、総括・情報班及び避嫌消導班とし、各班に班長を置く。
- (2) 各班の任務は、別表1に掲げる任務とする。
- (3) 防災センター(最低限、適信設備を有するものとする)を自衛水防組織の活動拠点とし、防災センター動務員及び各連の前長を自衛水助組織の中域として配置する。

(自衛水防組織の理川)

第2条 管理権服者は、施政職員の勤務体制 (シフト) も考慮した組織線成に努め、必要な人員の確保 及び施設職員等に割り当てた任務の周知徹底を図るものとする。

- 2 特に、休日・夜間も施設内に向用者が著在する施設にあって、休日・夜間に在館する施設機員等の みによっては十分な体制を発保することが愛しい場合は、管理権服者は、近隣在任の施設職員等の非常 参集も考慮して紅線組成に努めるものとする。
- 3 管理権限者は、災害等の応急活動のため緊急連絡制や施設職員等の非常参集計画を定めるものとする。

(自衛水防経緯の装備)

第3条 管理模限者は、自発水防和線に必要な装備品を整備するとともに、適正な維持管理に努めなければならない。

- 自衛木防料職の装備品は、別署2「自柴木防料職装備品リスト」のとおりとする。
- (2) 自衛水防利線の装備品については、統括管理者が防災センターに保管し、必要な点検を行うとと もに直接結果を記録保管し、常等使用できる状態で維持管理する。

(自御水助組織の活像)

第4条 自衛水防和機の各項は、複雑線保計画に基づき情報収集及び終難誘導等の活動を行うものとする。

